

【導入目的】

2015年問題 団塊の世代が定年を迎えられ、技術やノウハウを簡単に継承したい。
※2015年問題とは、すべての「団塊の世代」の方が65歳を迎えます。

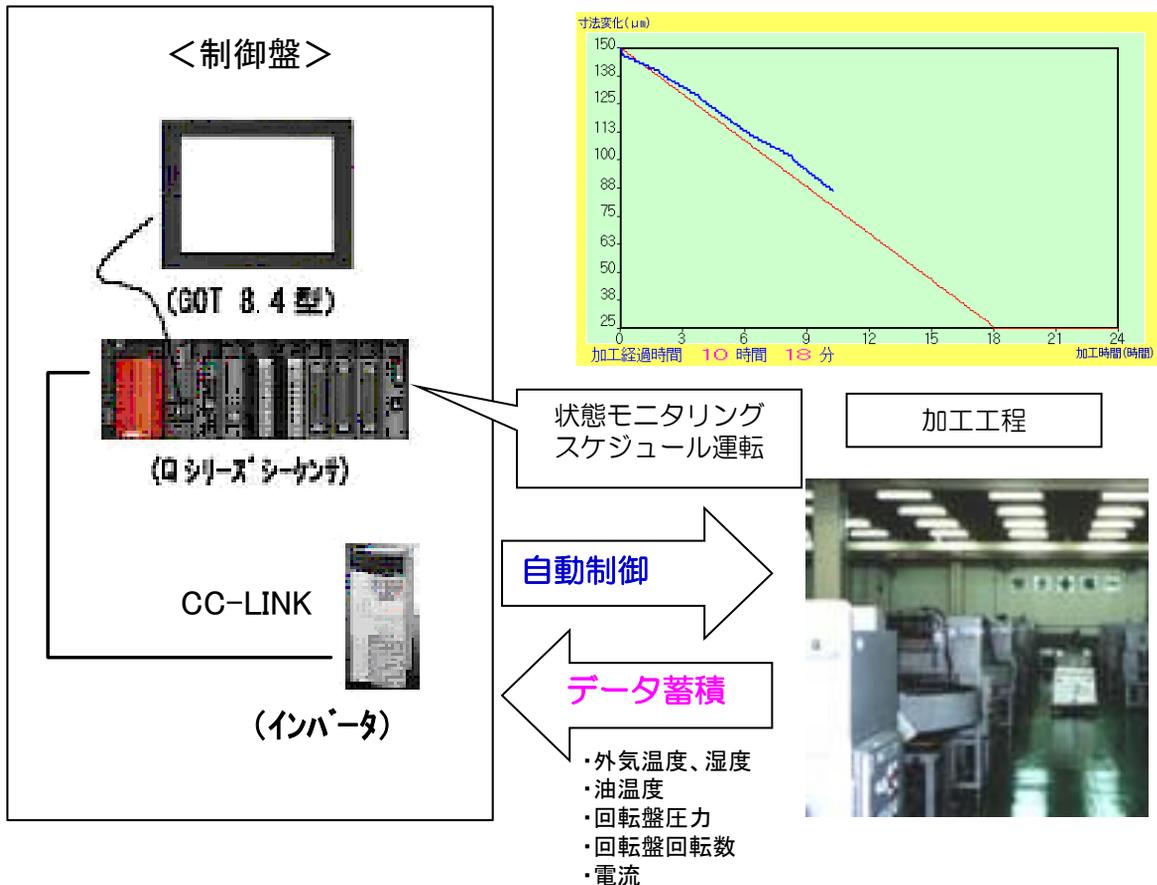
1. 熟練工がカンを頼りに作業していた工程をデータ化。
2. 誰でも簡単で間違いなく操作できるように、作業内容を単純化。
3. 将来、外国人労働者を作業員とし、海外へ進出。

Point !

1. 現場担当者しかわからなかった加工操作履歴が共有データとして見られます。（見える化）
2. 不測の事態が発生したときの対応方法が確認できます。（ガイダンス）
3. 蓄積されたデータに対する外部への情報漏えいを防止します。（セキュリティ強化）

以下の構成イメージは熟練工が行っていた微妙な盤圧力の設定を自動化した例となります。

<加工イメージ>



1. 熟練工の加工指示データと実績データをCC-LINK経由でシーケンサへ蓄積します。
2. シーケンサは目標運転パターンと加工状況を比較しながら最適な加工指示をします。